

## 医療現場見学会 開催報告

福井県では、今後成長が見込まれる医療産業への県内企業の進出を促進するため、医療現場サイドと企業との情報交流、販路開拓等を支援しています。

この一環として、福井大学医学部附属病院および福井大学産学官連携本部のご協力の下、医療現場（手術室含む）で使用されている手術機器・用具、医療用品・材料等を県内企業が見学し、医療現場のニーズや開発する医療機器のイメージづくりを進める「医療現場見学会」を開催しました。

現場見学会および医療者との意見交換を通じ、医療現場のニーズ・シーズに関する情報交換や、県内企業が開発すべき医療機器のイメージづくりを進めています。ふくい医療産業創出研究会も参加したので、この内容を報告します。



参加企業・関係者併せ約 60 名が参加の医療現場見学会

|     |    |                                                          |
|-----|----|----------------------------------------------------------|
| 日   | 時： | 平成 29 年 2 月 18 日                                         |
| 場   | 所： | 福井大学医学部附属病院 白翁会ホールほか                                     |
| 対   | 象： | 医療機器関連分野への参入を検討の企業、支援機関等                                 |
| 内   | 容： | (1) 医療現場からのニーズ説明<br>(2) 施設等見学（手術室含む）<br>(3) 企業シーズ発表（希望者） |
| 講   | 演： | 福井大学医学部 産婦人科 教授 吉田好雄 氏                                   |
| 参 加 | 者： | 60 名（県内 20 企業 30 名、医療関係者 30 名）                           |
| 主   | 催： | 経済産業省 中部経済産業局 電力・ガス事業北陸支局<br>福井県 / ふくい医療産業創出研究会          |

## 1. 主催者挨拶

主催者から挨拶が述べられ、福井大学病院からは「医師不足の昨今、単独機関ではできないことを連携体制により実現したい、本日は良く現場をごらん頂きたい。」、経済産業省からは、「政府の成長戦略において福井県の技術活用に期待している。炭素繊維やチタン材料などの高機能新素材の出口の一つとして医療分野に期待したい。」、県からは「医療分野は福井県の経済新戦略で成長分野の一つに位置づけられる。繊維や眼鏡の福井の産業技術とその精神を異分野に展開されたい。」と、当医療現場見学会に期待を寄せました。

## 2. 基調講演

福井大学医学部 産婦人科の吉田好雄教授より、「新規子宮肉腫転移機序解明技術を用いた転移バイオマーカーの開発」と題して講演して頂きました。講演では、肉腫の早期発見手法の開発への取り組みが紹介されました。現在、子宮筋腫と肉腫は鑑別が難しく、患者が不利益をこうむり易い上に再発の可能性が高く、特に悪性の筋腫は早期発見のための有効なバイオマーカーや診断薬がありません。そこで、これらの開発のために転移モデルを樹立しました。高転移モデルと低転移モデルの違いを成長・拡散カーブにおいて見つけ出し、この領域の中で細胞、遺伝子、蛋白質の違いを徹底的に調査しました。467の遺伝子をコンピュータ解析したところ、特定の遺伝子同定に成功し、この遺伝子から生成される蛋白質の作用を検討しているところです。企業への期待としては、(1)血清測定キットの開発、(2)同定された遺伝子および蛋白質の治療薬への応用、についてビジネス化の提案を募集したいとの事でした。加えて、子宮頸部の異常発見のための受診率を向上させるための支援制度などについて期待が寄せられました。

## 3. 医療現場見学会

### (1) ニーズ説明

福井大学医学部と看護部から、現場のニーズ発表がありました。医学部からは17件(内5件発表)、看護部から11件、業務に関連する改善要望点や新規機能性の要求、滅菌管理に有用なツールなどについて情報提供されました。

### (2) 現場見学会

参加者を三班に分け、リハビリテーション部門、手術室、滅菌管理部、PET検査部門の四つの現場見学を実施しました。その様子を以下に示します。

リハビリテーション部門：



装置の体験

手術室：



外科手術システム見学の様子

滅菌管理部：



機械洗浄方式と手洗いの選択説明

PET 検査部門：



撮影画像の活用方法

PET/MRI 装置見学では、MRI 画像と PET 画像の両方のデータを見学でき、MRI による人体断面データでは、体の一部が収縮していることしか判らないが、PET 画像を重ねさせた画像では、投与薬品の人体内部での滞留まで見ることができ、病気の診断に有用であることなど、撮影画像の活用方法までが示され、見学者にとって興味深い説明をして頂きました。

### (3) 企業シーズ発表

施設見学後、希望企業からシーズ発表を行い、企業の持つ独自技術や独自方式に対して医療側・看護現場側との意見交換を行いました。双方にとって有意義な情報交換を行うことができました。